

平成 24 年 3 月 30 日

各 位

会 社 名 セガサミーホールディングス株式会社
代 表 者 名 代 表 取 締 役 会 長 兼 社 長
里 見 治
(コード番号 6460 東証第一部)
問 合 せ 先 グループ代表室長兼グループコミュニケーション室長
上 田 晃 一 郎
(電話番号 03-6215-9955)

特別損失の発生および業績予想の修正に関するお知らせ

当社は平成 24 年 3 月 30 日開催の取締役会において、当社子会社である株式会社セガのコンシューマ事業の構造改革について決議したことに伴い、平成 24 年 3 月期に下記のとおり特別損失が発生する見込みとなりました。

また、最近の業績動向を踏まえ、平成 23 年 10 月 31 日に公表した平成 24 年 3 月期の通期連結業績予想を修正いたしましたので、併せてお知らせいたします。

記

平成 24 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正 (平成 23 年 4 月 1 日～平成 24 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 440,000	百万円 77,000	百万円 75,500	百万円 38,000	円 銭 151.03
今回発表予想 (B)	394,000	60,000	59,500	20,000	79.49
増減額 (B-A)	△46,000	△17,000	△16,000	△18,000	
増減率 (%)	△10.5	△22.1	△21.2	△47.4	
(ご参考) 前期実績 (平成 23 年 3 月期)	396,732	68,750	68,123	41,510	163.19

1. 特別損失発生の理由

セガを中心としたコンシューマ事業は、欧米における厳しい経済環境、ならびに家庭用ゲームソフトの市場環境の急速な変化を受けて、平成 24 年 3 月期においては、営業損失を計上する見込みとなりました。このような経営環境の中、翌期以降の収益改善を目的に、市場環境に適応した体制への転換を図るべく、株式会社セガにおいて、コンシューマ事業の構造改革の実施を決定いたしました。

本決定に伴い、組織の合理化や一部ゲームソフトの開発中止に伴う費用、在庫の処理費用など、特別損失が合計で約 71 億円発生する見込みとなりました。なお、翌期以降のコンシューマ事業においては、本改革により、営業費用の減少を見込んでおります。

本改革の詳細につきましては、本日公表いたしました「株式会社セガにおけるコンシューマ事業の構造改革について」をご参照ください。

2. 業績予想修正の理由

遊技機事業ではパチスロ事業において、3月末に設置を開始したロデオブランド「モンスターハンター」の受注が現在好調に推移しているものの、販売スケジュール上、当期から翌期にかけて出荷予定であること、ならびに昨年タイで発生した洪水の影響を受け、一部タイトルの販売が翌期に延期となったことにより、パチスロの通期販売台数は30.1万台（前回発表予想31.0万台）となる見込みです。また、パチンコについては、パチスロ遊技機への需要高まりを背景に市場がやや弱含んでおり、通期での販売台数は33.2万台（前回発表予想40.0万台）を見込みます。

アミューズメント機器事業、アミューズメント施設事業は堅調な業績の推移を見込む一方、コンシューマ事業においては、「1. 特別損失発生の理由」に記載のとおり、営業損失を計上する見込みとなりました。また、市場環境に鑑みて、当期末から翌期にかけて販売するゲームソフトの収益性を再評価した上で、一部の開発中タイトルの仕掛品を評価減し、第4四半期において約49億円を原価に計上いたします。

以上の結果、通期における連結売上高は3,940億円（前回発表予想と比較して460億円の減少）、営業利益は600億円（同170億円の減少）、経常利益は595億円（同160億円の減少）、当期純利益は200億円（同180億円の減少）となる見込みです。

なお、配当につきましては、期末配当20円、年間合計40円の予想から変更はございません。

※本資料内に記載した数値や業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因により予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以上